

事務事業名		幹線道路整備事業		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	建設水道部
総合計画体系	基本政策	5	安心・安全な住みよいまちづくり	課・室	道路河川課
	政策	06	身近な生活基盤の充実	係	土木係
	施策	03	暮らしを支える道路網の整備	内線電話	264
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	8款	土木費	計上	
	項	2項	道路橋梁費	実施期間	
	目	3目	道路新設改良費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	市民		意図（どのような状態にしたいのか）	快適な道路通行
	現状・課題	産業活動の基盤となる道路整備			
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	市道の整備を図る。			
事務事業概要	地域の産業経済の発展に重要な役割を担う、幹線道路の整備を図る。				
令和2年度の活動指標アウトプット	活動内容			活動量	
	市道 大俣線				道路改良工事 L=580m
	市道 岩船中央線				歩道改良工事 L=520m
	市道 中野5号線				測量設計 一式
	市道 米山線				測量設計 一式

事務イン 事業プ ット	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	R2は予算額	予算額	当初予算	円	87,000,000	196,600,000
補正・流用等			円	1,172,000	86,152,000	—
合計			円	88,172,000	282,752,000	197,780,000
	決算（見込）額 A		円	48,436,909	282,752,000	—
R2は予算額	財源内訳	国庫支出金	円	14,235,000	103,155,000	91,500,000
		県支出金	円			
		市債	円	6,600,000	79,100,000	87,000,000
		その他特定財源	円	13,938		
	一般財源		円	27,587,971	100,497,000	19,280,000
	正規職員数		人	1.16	1.93	1.97
	人件費 B		円	7,463,440	12,433,060	12,690,740
	総事業費 A+B		円	55,900,349	295,185,060	210,470,740
	市民1人当たりコスト		円	1,307	6,938	4,965

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
市道 大俣線		維持	目標	21.0	%	50.0	%	100.0	%
			成果	19.0	%	52.0	%	—	
市道 岩船中央線		維持	目標	10.0	%	54.0	%	100.0	%
			成果	10.0	%	47.0	%	—	
成果指標と目標値を設定した理由	安全で快適な道路交通の確保を図るため。								

令和2年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	国の内示率が低いことから、予算配分を考慮し優先順位をつけながら効率に事業の進捗に努める。						

